

第132回

定時株主総会 招集ご通知



TOKYO KAIKAN

開催日時

令和8年6月23日（火曜日）
午前10時（受付開始 午前9時）

開催場所

※会場は前年と同じです。

東京都千代田区丸の内三丁目2番1号
東京會舘本舘7階「Sakura」

株主総会にご出席願えない場合には、書面またはインターネットにより、議決権を事前に行使していただきますようお願いいたします。

目次

第132回定時株主総会招集ご通知	1
事業報告	5
計算書類	16
監査報告書	18
株主総会参考書類	21
第1号議案 剰余金の処分の件	
第2号議案 取締役8名選任の件	
第3号議案 監査役1名選任の件	
第4号議案 補欠監査役2名選任の件	
株主総会会場ご案内図	末尾

株主総会にご出席の株主様への「お土産」のご用意はございません。

株式会社東京會舘

証券コード：9701

証券コード9701
令和8年6月3日
(電子提供措置の開始日 令和8年6月1日)

株 主 各 位

東京都千代田区丸の内三丁目2番1号
株式会社 東京會館
取締役社長 渡 辺 訓 章

第132回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第132回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイト
に「第132回定時株主総会招集ご通知」として電子提供措置事項を掲載しております。

【当社ウェブサイト】

<https://www.kaikan.co.jp/ir/shareholdmtg.html>

また、上記のほか、インターネット上の下記ウェブサイトにも掲載しております。



【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

上記ウェブサイトにアクセスして、当社名または証券コード(9701)を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択の上、ご覧ください。



当日ご出席願えない場合には、書面またはインターネットにより議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の「株主総会参考書類」をご検討の上、令和8年6月22日（月曜日）午後6時までに議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 令和8年6月23日（火曜日）午前10時（受付開始 午前9時）
2. 場 所 東京都千代田区丸の内三丁目2番1号
東京會舘本館7階「Sakura」

3. 会議の目的事項

報告事項 第132期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）事業報告
および計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案** 剰余金の処分の件
- 第2号議案** 取締役8名選任の件
- 第3号議案** 監査役1名選任の件
- 第4号議案** 補欠監査役2名選任の件

以 上

~~~~~

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。また、資源節約のため、本「招集ご通知」をご持参いただきますようお願い申し上げます。

◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、掲載している各ウェブサイトに掲載させていただきます。

◎本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。なお、電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、お送りする書面には記載しておりません。

- ・事業報告の「業務の適正を確保するための体制及び当体制の運用状況の概要」
- ・計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」

従いまして、株主様へのご送付書面は、監査報告を作成するに際し、監査役及び会計監査人が監査をした対象の一部であります。

## 議決権の行使についてのご案内

「第132回定時株主総会招集ご通知」をご参照の上、以下のいずれかの方法にて議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

### 株主総会の議決権行使を事前に行使いただける株主様



#### 郵送

議決権行使書用紙に賛否を記入し、ご返送ください。議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。

#### 行使期限

令和8年6月22日（月）  
午後6時までに到着



#### インターネット

議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) にアクセスしていただき、賛否をご入力ください。



#### 行使期限

令和8年6月22日（月）  
午後6時まで

詳細は次ページをご覧ください。

### 株主総会にご出席の株主様



議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。  
※裏表紙の「会場案内図」をご参照ください。

#### 株主総会開催日時

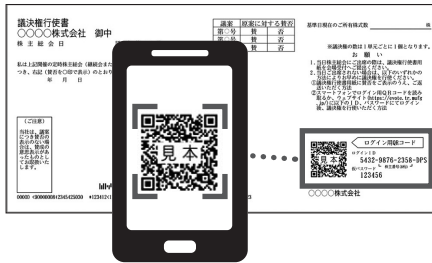
令和8年6月23日（火）  
午前10時

# インターネットによる議決権行使のお手続きについて

インターネットにより議決権を行使される際は、次の事項をご確認の上、パソコン、スマートフォン又はタブレットから、議決権行使サイトにアクセスし、画面の案内に従って行使していただきますようお願い申し上げます。

## QRコードを読み取る方法 (スマートフォン・タブレット等から)

- 1 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 画面の案内に従い、議案の賛否をご入力ください。

## ご注意事項

- 午前2時30分から午前4時30分はご利用いただけません。
- 複数回にわたり行使された場合の議決権の取扱い
  - (1) 議決権行使書用紙の郵送とインターネットの双方により重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効とさせていただきます。
  - (2) インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。

## 「ログインID」「パスワード」を入力する方法

- 1 議決権行使サイトへアクセス  
<https://evote.tr.mufg.jp/>

## 2 ログイン

議決権行使サイトにおいて、議決権行使書用紙に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」をご入力ください。

- 3 画面の案内に従い、議案の賛否をご入力ください。

## ● システム等に関するお問い合わせ ●

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (ヘルプデスク)  
0120-173-027 (午前9時～午後9時、通話料無料)

# 事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過およびその成果

当事業年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の増加などを背景に緩やかな回復基調が続いた一方、継続的な物価上昇や物流コスト・人件費の増加に加え、米国政権の関税政策を始めとする海外経済の不確実性などにより、先行き不透明な状況が継続するなかで推移しました。

このような状況の下、当社は一貫して、「確かなサービスと格調高い施設を提供することで、我が国の食文化の発展に貢献する」という創業以来の企業理念のもと、その具現化に向けて「期待を超える上質な味とサービスをお客様へ継続的に提供すること」をビジョンに掲げて各種施策の実施を継続してまいりました。

特に中期経営計画の最終年度に当たる当事業年度は、その集大成に向けて重点テーマである「現有資産の収益力最大化」と「経営基盤の強化」の諸施策を着実に推し進めてまいりました。現有資産の収益力最大化の観点では、本館を中心とした施設空間の上質感を持続的に高める取り組みを継続して行い、経営基盤強化の観点では、事業の持続的成長実現に向けた人的資本への投資や、従業員の報酬・福利厚生改善、多様な人材活用を意識した雇用環境整備等に注力してまいりました。

その結果、当事業年度の売上高は、宴会・食堂・売店その他の全ての部門で前期に比べて増加し、16,259百万円（前期比986百万円増加）となりました。経費面では、適正価格での原材料の計画的調達によるコストコントロールや厳格な経費管理を実施し、人的資本への投資に伴う諸費用の吸収に努めた結果、営業利益は1,437百万円（前期比162百万円増加）、経常利益は1,480百万円(前期比233百万円増加)、当期純利益は989百万円(前期比100百万円増加)となりました。

これを部門別にみますと

**宴会部門**につきましては、本館において旺盛な法人需要や各種会合の活発化を背景に大型宴会の受注が伸長したほか、営業スタッフの増員や受注管理の効率化など営業体制の強化が

奏功し、一般宴会の受注件数および施行単価がともに上昇いたしました。婚礼につきましても、好調であった前事業年度の施行件数をさらに上回るとともに、高付加価値メニューの投入などにより施行単価も上昇し、売上は一層堅調に推移いたしました。これらの結果、宴会部門全体の売上高は11,561百万円（前期比7.2%増）となりました。

**食堂部門**につきましては、本館において季節性を取り入れたメニュー展開や各店舗の特色を生かした商品構成の充実に努めたほか、平日の法人利用および週末の慶事利用が堅調に推移しました。営業所各店舗におきましても来客数および客単価が着実に増加したことから、食堂部門全体の売上高は3,548百万円（前期比5.6%増）となりました。

**売店・その他の営業**につきましては、本館売店において季節商品や新商品の継続的な投入が好評を博したほか、一般宴会および婚礼の施行件数増加に伴う引菓子等の付帯需要の拡大が売上を下支えしました。食品部門においても、伝統の焼菓子や半生菓子を中心とした商品の販売が堅調に推移した結果、売店・その他部門の売上高は1,150百万円（前期比1.9%増）となりました。

## (2) 設備投資および資金調達の状況

当事業年度中に実施いたしました設備投資の総額は133百万円で、主なものは次のとおりでございます。なお、所要資金は自己資金をもって充当いたしました。

- ・千石工場 菓子生産設備改修
- ・本館 接客サービス用設備入替等
- ・全社 ITインフラ関連機器等

## (3) 対処すべき課題

今後の経済見通しにつきましては、内需を中心とした底堅い成長が続くと予測され、引き続き緩やかな景気回復が期待されます。しかしながら、世界各地での地政学的に不安定な状態の継続、中東情勢の緊迫化や米国対外政策の先行きの不確実性等の影響が消費活動の下押しやエネルギー価格の高騰に繋がるなどの懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況であると予測されます。

このような状況の下、当社は「中期経営計画（2026～2028年度）」を策定いたしました。同中計においては、今後長期にわたる持続的な成長を可能とするための組織基盤強化に施策の重点を置き、成長機会を適時に捉えて成果に繋がる態勢構築に注力します。その施策として、人的資本および設備への投資を戦略的に実行することで、当社ブランド力のさらなる向上を図るとともに、高付加価値戦略に基づく適正な価格体系を実現し、持続可能な収益構造の確立を推し進めてまいります。同時に、AIをはじめとする技術革新の動きを積極的に取り入れ、オペレーションの最適化や生産性向上を通じたコストコントロールの徹底により、持続的な利益成長を実現してまいります。また、資本コストや株価を意識した経営の一環として、中期経営計画最終年度においてROE（自己資本利益率）8%以上の確保を経営目標に掲げ、資本効率向上に努めます。加えて、ステークホルダーの皆様にとって価値ある企業であり続けるため、安定的な株主還元、従業員満足度の向上、およびSDGsへの取り組みを加速させます。これらの活動を通じ、当社の長期ビジョンである、「『次の100年』も愛される人生の特別な場所であり続ける」ことの実現に向け、邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**(4) 財産および損益の状況の推移**

(単位：記載あるほかは百万円)

| 期別<br>項目  | 第129期<br>令和5年3月期 | 第130期<br>令和6年3月期 | 第131期<br>令和7年3月期 | 第132期<br>(当事業年度)<br>令和8年3月期 |
|-----------|------------------|------------------|------------------|-----------------------------|
| 売上高       | 12,885           | 14,883           | 15,273           | 16,259                      |
| 経常利益      | 276              | 986              | 1,246            | 1,480                       |
| 当期純利益     | 249              | 1,535            | 889              | 989                         |
| 1株当り当期純利益 | 74.71円           | 459.67円          | 268.30円          | 299.93円                     |
| 総資産       | 25,219           | 26,430           | 27,497           | 30,173                      |
| 純資産       | 7,532            | 9,597            | 10,957           | 13,131                      |

[注] 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式を控除した株式数を用いて算出しております。

**(5) 主要な事業内容（令和8年3月31日現在）**

宴会場・結婚式場・レストランの経営ならびに洋菓子等の食品製造、販売を行っております。

**(6) 主要な営業所および工場（令和8年3月31日現在）**

| 名称                     | 所在地     | 名称             | 所在地     |
|------------------------|---------|----------------|---------|
| 本館                     | 東京都千代田区 | 銀座営業所          | 東京都千代田区 |
| 如水会館                   | 東京都千代田区 | 日比谷プロムナードビル営業所 | 東京都千代田区 |
| 大手町営業所<br>(LEVEL X XI) | 東京都千代田区 | 癌研有明病院営業所      | 東京都江東区  |
| 三越日本橋本店営業所             | 東京都中央区  | 千石工場           | 東京都江東区  |

**(7) 従業員の状況（令和8年3月31日現在）**

| 従業員数 | 前期末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|------|--------|-------|--------|
| 480名 | 29名増   | 41.7才 | 11.4年  |

## (8) 主要な借入先および借入金（令和8年3月31日現在）

| 借入先         | 借入額                  |
|-------------|----------------------|
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 9,200 百万円<br>(9,200) |
| 株式会社三井住友銀行  | 1,890<br>(1,840)     |
| 株式会社みずほ銀行   | 50                   |

※（ ）内は、当社が信託した不動産を引当として、信託受託者において行った借入に係るものであります。

## 2. 会社の株式に関する事項（令和8年3月31日現在）

- (1) 発行可能株式総数 8,900,000株
- (2) 発行済株式の総数 3,463,943株（自己株式124,934株を含む）
- (3) 株主数 4,891名（前期末比99名増）
- (4) 大株主（上位10名）

| 株主名               | 持株数       | 持株比率      |
|-------------------|-----------|-----------|
| サントリーホールディングス株式会社 | 千株<br>313 | %<br>9.38 |
| 東京會館取引先持株会        | 194       | 5.84      |
| 日本生命保険相互会社        | 172       | 5.17      |
| 三信株式会社            | 166       | 4.98      |
| 三菱地所株式会社          | 131       | 3.93      |
| 株式会社三菱UFJ銀行       | 117       | 3.53      |
| 明治安田生命保険相互会社      | 105       | 3.16      |
| 株式会社みずほ銀行         | 103       | 3.10      |
| 富国生命保険相互会社        | 100       | 3.02      |
| 阪急阪神ホールディングス株式会社  | 100       | 3.00      |

〔注〕当社は、自己株式124千株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式には役員報酬BIP信託口が保有する当社株式40千株を含めておりません。

### 3. 会社の新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

### 4. 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役および監査役（令和8年3月31日現在）

| 地 位       | 氏 名       | 担当および重要な兼職の状況                                               |
|-----------|-----------|-------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長   | 渡 辺 訓 章   |                                                             |
| 代表取締役専務   | 鈴 木 輝 伯   | 管理本部長                                                       |
| 常 務 取 締 役 | 星 野 昌 宏   | 営業本部長 兼 マーケティング戦略部長 兼 本館営業部長                                |
| 取 締 役     | 山 口 健 太 郎 | 営業推進部統括部長                                                   |
| 取 締 役     | 吉 田 寛     | 本館営業部副部長 兼 本館総支配人                                           |
| 取 締 役     | 斉 藤 哲 二   | 調理本部長 兼 本館総調理長                                              |
| 取 締 役     | 蛭 原 望     | 管理本部副本部長 兼 経理部長                                             |
| 取 締 役     | 島 谷 能 成   | 東宝株式会社 代表取締役会長<br>阪急阪神ホールディングス株式会社 取締役                      |
| 取 締 役     | 合 場 直 人   | 公益財団法人 としま未来文化財団 理事長<br>株式会社キーストーン・パートナーズ 社外監査役             |
| 取 締 役     | 福 本 ともみ   | サントリーホールディングス株式会社 社友<br>株式会社ミルボン 社外取締役<br>大和ハウス工業株式会社 社外取締役 |
| 常 勤 監 査 役 | 宮 幸 男     |                                                             |
| 監 査 役     | 相 場 康 則   | サントリーホールディングス株式会社 特別顧問<br>株式会社ホットランドホールディングス 社外取締役          |
| 監 査 役     | 三 毛 兼 承   | 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役執行役会長<br>三菱自動車工業株式会社 社外取締役          |

- 〔注〕 1. 取締役 島谷能成、合場直人および福本ともみの3氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 相場康則および三毛兼承の両氏は、社外監査役であります。
3. 常勤監査役 宮幸男氏は、当社内の管理部門で長年にわたる豊富な経験を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 取締役 島谷能成、合場直人、福本ともみ、監査役 相場康則の4氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として同取引所に届け出ております。

#### 5. 当事業年度中の取締役の重要な兼職の異動

| 氏名   | 新                       | 旧                          | 異動日       |
|------|-------------------------|----------------------------|-----------|
| 合場直人 | 公益財団法人 としま未来文化財団 理事長    | —                          | 令和7年4月1日  |
|      | 株式会社キーストーン・パートナーズ 社外監査役 | —                          |           |
| 島谷能成 | 東宝株式会社 代表取締役会長          | 東宝株式会社 代表取締役会長             | 令和7年6月25日 |
|      | 阪急阪神ホールディングス株式会社 取締役    | 阪急阪神ホールディングス株式会社 取締役       |           |
|      | —                       | 株式会社フジ・メディア・ホールディングス 社外取締役 |           |

#### 【ご参考】決算期後の異動 取締役の担当の異動

| 氏名   | 新                        | 旧                                        | 異動日      |
|------|--------------------------|------------------------------------------|----------|
| 鈴木輝伯 | 代表取締役・専務取締役              | 代表取締役・専務取締役<br>管理本部長                     | 令和8年4月1日 |
| 星野昌宏 | 常務取締役 営業本部長              | 常務取締役 営業本部長<br>兼 マーケティング戦略部長<br>兼 本館営業部長 |          |
| 吉田寛  | 取締役 営業本部副本部長<br>兼 本館総支配人 | 取締役 本館営業部副部长<br>兼 本館総支配人                 |          |
| 蛸原望  | 取締役 管理本部長<br>兼 総務部長      | 取締役 管理本部副本部長<br>兼 経理部長                   |          |

#### 監査役の重要な兼職の異動

| 氏名   | 新                         | 旧                             | 異動日      |
|------|---------------------------|-------------------------------|----------|
| 三毛兼承 | 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 取締役 | 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役執行役会長 | 令和8年4月1日 |
|      | 株式会社三菱UFJ銀行 特別顧問          | —                             |          |

#### (2) 役員等賠償責任保険契約に関する事項

当社は会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者がその職務の執行に関し責任を負うこと、または当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずる損害を当該保険契約により填補することとしております。当該保険契約の被保険者は取締役および監査役であります。

### (3) 会社役員の報酬等に関する事項

#### ① 役員報酬等の額および算定方法の決定に関する方針

当社の取締役の報酬等は、経営内容ならびに経済情勢等を考慮のうえ、株主総会で決議した報酬総額の限度内で各取締役の地位および担当を踏まえて決定することとしており、役員報酬等の決定方針および毎年の取締役報酬は取締役会において決定しております。

当社の取締役報酬は、以下1～3にて構成します。

##### 1. 固定報酬

取締役全員を対象とする月額固定による金銭報酬です。

##### 2. 年次賞与

業務執行役員を対象とする業績貢献意欲を高めることを目的として、当該事業年度の業績達成度に基づき支給される年次の金銭報酬です。

##### 3. 株式報酬

業務執行役員を対象とする中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意識を高めることを目的として、当該事業年度の業績達成度に基づき、退任時に交付を受ける株式報酬です。

当社の監査役の報酬等は、監査役の地位を考慮し、業績に左右されない安定的な処遇を基本として固定報酬のみで構成し、監査役の協議において決定しております。

#### ② 当事業年度に係る取締役および監査役の報酬等の総額

| 役員区分             | 報酬等の総額<br>(百万円) | 報酬等の種別の額 (百万円) |         |         | 対象となる<br>役員の員数<br>(人) |
|------------------|-----------------|----------------|---------|---------|-----------------------|
|                  |                 | 基本報酬           | 業績連動報酬  |         |                       |
|                  |                 |                | 賞与      | 株式報酬    |                       |
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 167<br>(14)     | 133<br>(14)    | 17<br>- | 17<br>- | 10<br>(3)             |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 24<br>(9)       | 24<br>(9)      | -<br>-  | -<br>-  | 3<br>(2)              |

- [注] 1. 取締役の報酬額には、使用人兼務取締役の使用人給与は含まれておりません。  
 2. 業績連動型株式報酬の額は、役員報酬BIP信託に関し当事業年度中に付与したポイントに係る費用計上額です。  
 3. 賞与の決定ならびに株式報酬の決定に係る業績指標は経常利益であり、その実績は1,480百万円であります。当該業績指標を選択した理由は、当社が経常利益を企業価値の持続的な向上を図るための最も重要な業績指標の一つとみなしていることによります。

4. 取締役の報酬等限度額は、平成20年6月26日開催第114回定時株主総会ならびに令和6年6月21日開催第130回定時株主総会で決議いたしております。

取締役 金銭報酬 年額2億5千万円以内  
株式報酬 1億8千万円以内／5事業年度  
4万5千株以内／5事業年度

※ 株式報酬は社外取締役を除く

監査役の報酬等限度額は、平成20年6月26日開催第114回定時株主総会で決議いたしております。

監査役 金銭報酬 年額5千万円以内

なお、第114回定時株主総会の決議時における当社の取締役は8名、監査役は3名であり、第130回定時株主総会の決議時における対象取締役の員数は7名です。

## (4) 社外役員に関する事項

## ア. 重要な兼職の状況および当社との関係

| 区 分   | 氏 名     | 重要な兼職の状況                       | 当社と兼職先との関係                     |
|-------|---------|--------------------------------|--------------------------------|
| 社外取締役 | 島 谷 能 成 | 東宝株式会社 代表取締役会長                 | 当社の大株主であります。                   |
|       |         | 阪急阪神ホールディングス株式会社<br>取締役        |                                |
|       |         | 株式会社フジ・メディア・ホールディングス 社外取締役     |                                |
| 社外取締役 | 合 場 直 人 | 公益財団法人としま未来文化財団<br>理事長         | 重要な取引その他の関係はありません。             |
|       |         | 株式会社キーストーン・パートナーズ 社外監査役        |                                |
| 社外取締役 | 福 本 ともみ | サントリーホールディングス株式会社<br>社友        | 当社の大株主であり、原材料の仕入れ先<br>であります。   |
|       |         | 株式会社ミルボン 社外取締役                 |                                |
|       |         | 大和ハウス工業株式会社<br>社外取締役           |                                |
| 社外監査役 | 相 場 康 則 | サントリーホールディングス株式会社<br>特別顧問      | 当社の大株主であり、原材料の仕入れ先<br>であります。   |
|       |         | 株式会社ホットランドホールディングス 社外取締役       |                                |
| 社外監査役 | 三 毛 兼 承 | 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 取締役執行役会長 | 同社の子会社は、当社の大株主であり借<br>入先であります。 |
|       |         | 三菱自動車工業株式会社 社外取締役              |                                |

## イ. 当事業年度における主な活動状況

| 区 分   | 氏 名     | 当事業年度における主な活動状況                                                                 |
|-------|---------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役 | 島 谷 能 成 | 当事業年度開催の取締役会11回全てに出席し、企業経営等の豊富な経験や実績、幅広い知識と見識に基づき、必要に応じて意見を述べております。             |
| 社外取締役 | 合 場 直 人 | 当事業年度開催の取締役会11回全てに出席し、企業経営等の豊富な経験や実績、幅広い知識と見識に基づき、必要に応じて意見を述べております。             |
| 社外取締役 | 福 本 ともみ | 当事業年度開催の取締役会11回全てに出席し、企業経営等の豊富な経験や実績、幅広い知識と見識に基づき、必要に応じて意見を述べております。             |
| 社外監査役 | 相 場 康 則 | 当事業年度開催の取締役会11回全て、および監査役会6回全てに出席し、企業経営等の豊富な経験や実績、幅広い知識と見識に基づき、必要に応じて意見を述べております。 |
| 社外監査役 | 三 毛 兼 承 | 当事業年度開催の取締役会11回全て、および監査役会6回全てに出席し、企業経営等の豊富な経験や実績、幅広い知識と見識に基づき、必要に応じて意見を述べております。 |

## ウ. 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外取締役および各社外監査役は、会社法第427条第1項ならびに当社定款第26条および第35条の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項各号に定める最低限度額としております。

## 5. 会計監査人に関する事項

### (1) 会計監査人の名称

Mooreみらい監査法人

### (2) 会計監査人の報酬等の額

- |                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| ① 当事業年度に係る報酬等の額                      | 22百万円 |
| ② 当社が会計監査人に支払うべき<br>金銭その他の財産上の利益の合計額 | 22百万円 |

- [注] 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査報酬の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できないため、上記金額は合計額で記載しております。
2. 当社監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、取締役、社内関係部署及び会計監査人からの必要な資料の入手や報告の聴取を通じて、会計監査人の監査計画の内容、従前の事業年度における職務遂行状況や報酬見積もりの算出根拠などを検討した結果、会計監査人の報酬等について、監査品質を維持していくために合理的水準であると判断し、会社法第399条第1項の同意をいたしました。

### (3) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

当社監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合など、その必要があると判断した場合は、会計監査人の解任または不再任に関する議案を決定し、取締役会は当該決定に基づき、当該議案を株主総会の会議の目的とすることといたします。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められ、かつ改善の見込みがないと判断した場合は、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任理由を報告いたします。

# 貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額               | 科 目                  | 金 額               |
|-----------------|-------------------|----------------------|-------------------|
| <b>流 動 資 産</b>  | <b>9,367,361</b>  | <b>流 動 負 債</b>       | <b>3,204,245</b>  |
| 現金及び預金          | 2,761,541         | 買掛金                  | 260,476           |
| 売掛金             | 677,144           | 短期借入金                | 190,000           |
| 未収入金            | 12,406            | 1年内返済予定の長期借入金        | 240,000           |
| 有価証券            | 5,600,000         | リース債務                | 222,663           |
| 商品及び製品          | 16,935            | 未払金                  | 1,158,699         |
| 仕掛品             | 6,117             | 未払法人税等               | 239,792           |
| 原材料及び貯蔵品        | 154,495           | 未払消費税等               | 153,441           |
| 前払費用            | 106,642           | 未払費用                 | 70,987            |
| その他             | 32,257            | 前受り金                 | 234,432           |
| 貸倒引当金           | △180              | 預り金                  | 55,540            |
| <b>固 定 資 産</b>  | <b>20,806,264</b> | 賞与引当金                | 341,600           |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>12,733,721</b> | 役員賞与引当金              | 17,100            |
| 建物              | 9,821,030         | 株主優待引当金              | 19,510            |
| 構築物             | 138,676           | <b>固 定 負 債</b>       | <b>13,838,239</b> |
| 機械装置及び運搬具       | 84,531            | 長期借入金                | 10,800,000        |
| 工具、器具及び備品       | 204,693           | リース債務                | 382,136           |
| 土地              | 1,958,224         | 繰延税金負債               | 1,481,422         |
| リース資産           | 526,564           | 退職給付引当金              | 610,057           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>6,616</b>      | 株式給付引当金              | 29,896            |
| リース資産           | 3,607             | 資産除去債務               | 60,726            |
| 電話加入権           | 3,009             | 長期預り保証金              | 474,000           |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>8,065,926</b>  | <b>負 債 合 計</b>       | <b>17,042,485</b> |
| 投資有価証券          | 6,298,577         | <b>(純資産の部)</b>       |                   |
| 敷金及び保証金         | 180,295           | 株主資本                 | 9,587,256         |
| 従業員に対する長期貸付金    | 466               | 資本金                  | 3,700,011         |
| 長期前払費用          | 1,040,800         | 資本剰余金                | 2,242,367         |
| その他             | 545,786           | 資本準備金                | 925,002           |
| <b>資 産 合 計</b>  | <b>30,173,626</b> | その他資本剰余金             | 1,317,364         |
|                 |                   | <b>利 益 剰 余 金</b>     | <b>4,241,378</b>  |
|                 |                   | その他利益剰余金             | 4,241,378         |
|                 |                   | 固定資産圧縮積立金            | 1,575,759         |
|                 |                   | 繰越利益剰余金              | 2,665,618         |
|                 |                   | <b>自 己 株 式</b>       | <b>△596,500</b>   |
|                 |                   | 評価・換算差額等             | 3,543,883         |
|                 |                   | その他有価証券評価差額金         | 3,543,883         |
|                 |                   | <b>純 資 産 合 計</b>     | <b>13,131,140</b> |
|                 |                   | <b>負 債 純 資 産 合 計</b> | <b>30,173,626</b> |

[注] 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                    | 金 額     |                  |
|------------------------|---------|------------------|
| 売 上 高                  |         | 16,259,831       |
| 売 上 原 価                |         | 13,833,698       |
| <b>売 上 総 利 益</b>       |         | <b>2,426,133</b> |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費    |         | 988,476          |
| <b>営 業 利 益</b>         |         | <b>1,437,656</b> |
| 営 業 外 収 益              |         |                  |
| 受 取 利 息 及 び 配 当 金      | 166,149 |                  |
| そ の 他                  | 17,837  | 183,986          |
| 営 業 外 費 用              |         |                  |
| 支 払 利 息                | 82,772  |                  |
| コ ミ ッ ト メ ン ト フ ィ ー    | 2,749   |                  |
| 信 託 手 数 料              | 55,993  | 141,516          |
| <b>経 常 利 益</b>         |         | <b>1,480,127</b> |
| 特 別 損 失                |         |                  |
| リ ー ス 解 約 損            | 14,762  | 14,762           |
| <b>税 引 前 当 期 純 利 益</b> |         | <b>1,465,364</b> |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税  | 271,215 |                  |
| 法 人 税 等 調 整 額          | 204,622 | 475,837          |
| <b>当 期 純 利 益</b>       |         | <b>989,527</b>   |

[注] 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 会計監査人の監査報告書謄本

独立監査人の監査報告書

令和8年5月18日

株式会社東京會館  
取締役会 御中

Mooreみらい監査法人

東京都千代田区

|         |       |         |
|---------|-------|---------|
| 指 定 社 員 | 公認会計士 | 鶴 田 慎之介 |
| 業務執行社員  |       |         |
| 指 定 社 員 | 公認会計士 | 後 宏 治   |
| 業務執行社員  |       |         |

## 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社東京會館の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第132期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 監査役会の監査報告書謄本

## 監 査 報 告 書

当監査役会は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第132期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、当社の健全で持続的な成長を確保し、社会的信頼に応える良質な企業統治体制を取締役会と協働して確立することを監査の基本の方針として、監査計画、職務の分担等を定め、法令順守、内部統制システムの構築・運用の状況及びリスク管理を重点監査項目に設定し、各監査役から監査の実施状況及びその結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、監査計画等に従い、取締役、内部監査部門その他使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施いたしました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び内部監査部門等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な営業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。なお、金融商品取引法上の財務報告に係る内部統制については、取締役等及びMooreみらい監査法人から当該内部統制の評価及び監査の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
  - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
  - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
  - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、財務報告に係る内部統制も含め、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果  
会計監査人 Mooreみらい監査法人 の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

令和8年5月22日

株式会社 東京會館 監査役会

常勤監査役 宮 幸 男 ㊟

監 査 役 (社外監査役) 相 場 康 則 ㊟

監 査 役 (社外監査役) 三 毛 兼 承 ㊟

以 上

# 株主総会参考書類

## 議案および参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当期の期末配当につきましては、安定的な利益還元に努める基本方針および当期の業績や内部留保を総合的に勘案いたしまして、以下のとおりといたしたいと存じます。

- (1) 配当財産の種類  
金銭といたします。
- (2) 配当財産の割当てに関する事項およびその総額  
当社普通株式1株につき 金45円00銭  
総額150,255,405円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日  
令和8年6月24日

## 第2号議案 取締役8名選任の件

取締役 渡辺訓章、鈴木輝伯、星野昌宏、山口健太郎、斉藤哲二、蛭原望、合場直人、福本ともみの8氏は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、新任1名を含む取締役8名の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                 | 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                          | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 所有する<br>当社の株式の数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1                                                                                                                                                         | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br><small>わた なべ のり あき</small><br><b>渡 辺 訓 章</b><br>(昭和33年12月28日生) | 昭和57年 3月 当社入社<br>平成11年 4月 当社浜松町東京會館総支配人<br>平成15年 1月 当社営業所事業部副部長兼浜松町東京會館総支配人<br>平成16年 1月 当社本館宴会支配人兼婚礼支配人<br>平成19年 3月 当社本館総支配人兼宴会支配人<br>平成21年 4月 当社本館総支配人兼宴会支配人兼食堂支配人<br>平成26年 4月 当社本館総支配人兼宴会支配人<br>平成26年 6月 当社取締役本館総支配人兼宴会支配人<br>平成27年 2月 当社取締役本館開設準備室長<br>平成29年 4月 当社代表取締役社長<br>平成29年10月 当社代表取締役社長戦略本部長<br>令和 2年 4月 当社代表取締役社長営業本部長<br>令和 5年 3月 当社代表取締役社長 (現任) | 3,200株          |
| [取締役候補者とした理由]<br>渡辺訓章氏は、代表取締役社長として、卓越したリーダーシップと豊富な経験により当社の成長と発展に大きく貢献してまいりました。今後も営業戦略・運営面全般における幅広い知見により、当社の持続的な成長と企業価値向上に寄与する人材と判断したため、引き続き取締役候補者としております。 |                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                 |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                      | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 所 有 す る<br>当社の株式の数 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 2                                                                                                                                                                                              | <div data-bbox="264 536 325 567" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br><small>ほし の まさ ひろ</small><br><b>星野昌宏</b><br>(昭和51年7月21日生) | 平成11年3月 株式会社博報堂入社<br>平成17年11月 株式会社ローランド・ベルガー入社<br>平成20年10月 ブーズ・アンド・カンパニー株式会社入社<br>平成21年10月 ルートエフパートナーズ株式会社パートナー<br>平成22年7月 株式会社ベクトル入社<br>平成24年5月 株式会社ポジティブドリームパーソンズ入社<br>平成24年11月 同社経営管理統括本部統括部長<br>平成25年5月 同社取締役執行役員<br>平成28年5月 株式会社エポック・ジャパン取締役<br>平成29年10月 当社戦略本部副本部長兼マーケティング戦略部長<br>平成30年6月 当社取締役戦略本部副本部長兼マーケティング戦略部長<br>令和元年6月 当社取締役戦略本部副本部長兼営業本部副本部長兼マーケティング戦略部長<br>令和2年4月 当社取締役営業本部副本部長兼マーケティング戦略部長兼本館営業部長<br>令和2年6月 当社常務取締役営業本部副本部長兼マーケティング戦略部長兼本館営業部長<br>令和5年3月 当社常務取締役営業本部長兼マーケティング戦略部長兼本館営業部長<br>令和8年4月 当社常務取締役営業本部長（現任） | 1,800株             |
| <p>[取締役候補者とした理由]</p> <p>星野昌宏氏は、幅広い業界において経営者として培った知識と経験を有し、営業本部長、マーケティング戦略部長を務め、営業戦略・運營業務全般での実績を重ねてまいりました。今後も営業部門のみならず経営全般における経験・実績・見識により、当社の持続的成長・企業価値の向上に寄与する人材と判断したため、引き続き取締役候補者としております。</p> |                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                    |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                           | 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                  | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                            | 所有する<br>当社の株式の数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 3                                                                                                                                                                                                                                                   | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br>やま ぐち けんたろう<br>山 口 健太郎<br>(昭和41年6月4日生) | 昭和60年3月 株式会社帝国ホテル入社<br>平成23年4月 同社営業部次長<br>平成26年4月 同社営業部部长<br>平成28年10月 同社事業開発部担当部長<br>平成29年7月 当社営業推進部統括部長<br>平成29年10月 当社営業本部副本部長兼営業推進部<br>統括部長<br>平成30年6月 当社取締役営業本部副本部長兼営業<br>推進部統括部長<br>令和2年4月 当社取締役営業推進部統括部長(現任)                                                                              | 1,500株          |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[取締役候補者とした理由]</p> <p>山口健太郎氏は、ホテル業界で培った営業責任者としての豊富な知識と経験をもとに、営業推進部統括部長を務めるなど実績を重ねてまいりました。今後も営業戦略全般に関する豊富な経験・実績・見識により、当社の持続的成長・企業価値の向上に寄与する人材と判断したため、引き続き取締役候補者としております。</p> </div>            |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                 |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                   | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br>さい とう てつ じ<br>斉 藤 哲 二<br>(昭和34年9月12日生) | 昭和53年3月 当社入社<br>平成14年4月 当社経団連ゲストハウス調理長<br>平成20年4月 当社調理・製菓部本館プルニエ調理長<br>平成27年2月 当社浜松町東京會館調理長<br>平成30年1月 当社調理・製菓部副部长<br>平成30年10月 当社調理・製菓部副部长兼本館総調理長<br>平成31年1月 当社調理・製菓部長兼本館総調理長<br>令和2年4月 当社調理本部長兼調理・製菓部長兼<br>本館総調理長<br>令和2年6月 当社取締役調理本部長兼調理・製菓<br>部長兼本館総調理長<br>令和5年4月 当社取締役調理本部長兼本館総調理<br>長(現任) | 1,100株          |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[取締役候補者とした理由]</p> <p>斉藤哲二氏は、調理部門で宴会調理・レストランにおける調理長を歴任するなど、高度な専門性と豊富な経験を有し、調理本部長としてリーダーシップを発揮しております。当社が創業以来長年培ってきた味の伝承を行う中心的な役割を担っていることから、当社の取締役に相応しい人材と判断したため、引き続き取締役候補者としております。</p> </div> |                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                 |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                                                                                     | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                                     | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 所 有 す る<br>当社の株式の数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 5                                                                                                                                                                                                                                                             | <div data-bbox="266 344 326 374" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再任</div> <div data-bbox="266 384 545 470" style="text-align: center;"> <small>えび はら のぞみ</small><br/>           蛭 原 望<br/>           (昭和39年 8月24日生)         </div> | 昭和62年 4 月 沖電気工業株式会社入社<br>平成15年12月 帝人デュポンフィルム株式会社アジア<br>パシフィック地区コントローラ<br>平成19年10月 日本エア・リキード株式会社業務管<br>理室副室長兼コントローラ<br>平成21年 4 月 株式会社アドバンスト・ケーブル・<br>システムズ管理本部長兼CFO<br>平成23年 2 月 当社入社<br>平成29年 4 月 当社経理部長<br>令和 2 年 6 月 当社取締役経理部長<br>令和 5 年 3 月 当社取締役管理本部副本部長兼経理<br>部長<br>令和 8 年 4 月 当社取締役管理本部長兼総務部長<br>(現任) | 900株               |
| <div data-bbox="278 621 560 647" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">[取締役候補者とした理由]</div> <p data-bbox="258 654 1342 752">蛭原望氏は、幅広い業界で培った知識と経験をもとに、経理部長として実績を重ねてまいりました。財務戦略・管理業務全般に関する豊富な経験・実績・見識を有しており、当社の取締役に相応しい人材と判断したため、引き続き取締役候補者としております。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                    |

| 候補者<br>番号                                                                                                                               | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                       | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所 有 す る<br>当社の株式の数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 6                                                                                                                                       | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">新任</div><br><small>やま だ みつ お</small><br><b>山 田 満 男</b><br>(昭和41年12月29日生) | 平成 2 年 4 月 株式会社東京銀行（現 株式会社三菱UFJ銀行）入行<br>平成25年 6 月 ベトナムVietinBank出向 財務企画部共同部長<br>平成27年 7 月 三菱UFJ証券ホールディングス株式会社出向 人事部長兼グローバル人事室長<br>平成29年 5 月 株式会社三菱東京UFJ銀行（現 株式会社三菱UFJ銀行）グローバル金融犯罪対策部次長<br>令和 2 年 6 月 株式会社オプトラ入社<br>令和 3 年 3 月 同社取締役執行役員経営管理部長兼総務人事部担当<br>令和 6 年 6 月 当社経理部参与<br>令和 8 年 4 月 当社経理部長（現任） | 0株                 |
| <p>[取締役候補者とした理由]</p> <p>山田満男氏は、金融機関および事業会社における、国内外でのマネジメント経験により、財務戦略・管理業務に関する豊富な実績・見識を有しており、当社の取締役役に相応しい人材と判断したため、新たに取締役候補者としております。</p> |                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                    |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                    | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                                   | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 所 有 す る<br>当社の株式の数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 7                                                                                                                                                                                            | <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span>再任</span> <span>社外</span> <span>独立</span> </div> <p style="text-align: center;">あ い    ば    な お    と<br/>合 場 直 人<br/>(昭和29年9月26日生)</p> | <p>昭和52年4月 三菱地所株式会社入社<br/> 平成19年4月 同社執行役員ビル開発企画部長<br/> 平成22年4月 同社常務執行役員<br/> 平成25年4月 同社専務執行役員<br/> 平成25年6月 同社代表取締役専務執行役員<br/> 株式会社サンシャインシティ取締役<br/> 平成28年6月 三菱地所株式会社代表執行役執行役専務<br/> 平成30年4月 同社専務執行役員<br/> 平成30年6月 同社グループ執行役員<br/> 株式会社サンシャインシティ代表取<br/> 締役社長<br/> 平成31年4月 三菱地所株式会社顧問<br/> 令和2年6月 当社取締役(現任)<br/> 令和7年4月 公益財団法人としま未来文化財団理<br/> 事長(現任)<br/> 株式会社キーストーン・パートナ<br/> ース社外監査役(現任)</p> <p>(重要な兼職の状況)<br/> 公益財団法人としま未来文化財団理事長<br/> 株式会社キーストーン・パートナーズ社外監査役</p> | 0株                 |
| <p>[社外取締役候補者とした理由及び期待される役割]<br/> 合場直人氏は、不動産業界における企業経営で培った豊富な経験、実績、幅広い見識を有しております。当社はその経験・能力を高く評価しており、同氏が社外取締役に再任された場合の役割として、独立した立場からその知見を活かした監督と助言を行っていただくことが期待されるため、引き続き社外取締役候補者としております。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                    |

| 候補者番号                                                                                                                                                                               | 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 所有する<br>当社の株式の数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 8                                                                                                                                                                                   | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 5px;">再任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 5px;">社外</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 5px;">独立</div><br><small>ふくもと</small><br><b>福本 ともみ</b><br>(昭和34年2月18日生) | 昭和56年4月 サントリー株式会社入社<br>平成27年4月 サントリーホールディングス株式会社執行役員<br>コーポレートコミュニケーション本部副本部長<br>サントリービジネスエキスパート株式会社常務取締役 お客様リレーション本部部長<br>令和3年9月 サントリーホールディングス株式会社執行役員<br>サステナビリティ経営推進本部部長<br>令和4年1月 同社顧問CSRアンバサダー サステナビリティ担当シニアアドバイザー<br>令和4年6月 当社取締役(現任)<br>令和6年3月 株式会社ミルボン社外取締役(現任)<br>令和6年4月 サントリーホールディングス株式会社社友(現任)<br>令和6年6月 大和ハウス工業株式会社社外取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>サントリーホールディングス株式会社社友<br>株式会社ミルボン社外取締役<br>大和ハウス工業株式会社社外取締役 | 0株              |
| [社外取締役候補者とした理由及び期待される役割]<br>福本ともみ氏は、食品業界における企業経営で培った豊富な経験、実績、幅広い見識を有しております。当社はその経験・能力を高く評価しており、同氏が社外取締役に再任された場合の役割として、独立した立場からその知見を活かした監督と助言を行っていただくことが期待されるため、引き続き社外取締役候補者としております。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                 |

- [注] 1. 各候補者と当社との間における特別の利害関係はありません。  
 2. 合場直人、福本ともみの両氏は、社外取締役候補者であります。  
 3. 合場直人氏の社外取締役としての在任年数は、本総会終結の時をもちまして6年となります。  
 4. 福本ともみ氏の社外取締役としての在任年数は、本総会終結の時をもちまして4年となります。  
 5. 合場直人、福本ともみの両氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として同取引所に届け出ており、原案どおり選任された場合、引き続き独立役員となる予定です。  
 6. 当社と合場直人、福本ともみの両氏の間では、会社法第427条第1項および当社定款第26条の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する責任限定契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項各号に定める最低限度額としております。両氏が原案どおり選任された場合、当該契約を継続する予定であります。  
 7. 当社は会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者がその職務の執行に関し責任を負うこと、または当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずる損害を当該保険契約により填補することとしております。各候補者が原案どおり選任された場合、当該保険契約の被保険者に含まれることとなり、任期途中に当該保険契約を更新する予定であります。

### 第3号議案 監査役1名選任の件

監査役 宮幸男氏は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、監査役1名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                               | 略歴、地位および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                | 所有する<br>当社の株式の数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br>みや ゆき お<br>宮 幸 男<br>(昭和32年4月12日生)                   | 昭和55年3月 当社入社<br>平成11年10月 当社経理部次長<br>平成17年4月 当社総務部情報システム室長<br>平成23年9月 当社総務部人事室長<br>平成27年4月 当社人事部長<br>平成29年1月 当社経営企画部長<br>平成30年6月 当社補欠監査役<br>平成30年7月 当社監査室長<br>令和4年6月 当社常勤監査役(現任) | 700株            |
| [監査役候補者とした理由]<br>宮幸男氏は、人事部長、経営企画部長、監査室長を務めるなど、管理部門での業務実績と、監査役としての豊富な経験・見識を有しており、当社の監査体制の強化ならびに監査機能の充実を図ることに適切な人材と判断したため、引き続き監査役候補者としております。 |                                                                                                                                                                                 |                 |

- [注] 1. 候補者と当社との間における特別の利害関係はありません。
2. 当社は会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者がその職務の執行に関し責任を負うこと、または当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずる損害を当該保険契約により填補することとしております。宮幸男氏が原案どおり選任された場合、当該保険契約の被保険者に含まれることとなり、任期途中に当該保険契約を更新する予定であります。

## (ご参考) スキルマトリックス

## 【当社が取締役会で保有すべきと考えるスキル】

当社取締役会は、社内より当社の業務に精通した営業、管理、調理の各部門の責任者の中から経営上必要なマネジメントスキルを保有している者、また社外より企業経営を通じて培った豊富な経験・実績・幅広い見識を有し、その知見を活かした助言を行える者を選任することとしております。

## 【当社の取締役および監査役のスキルマトリックス】

第2号議案および第3号議案が原案どおり承認可決された場合は、各取締役および各監査役のスキルは以下のとおりとなる予定です。

|     | 氏 名     | 地 位     | 当社が特に期待する知見・経験 |              |      |             |                |              |                   |
|-----|---------|---------|----------------|--------------|------|-------------|----------------|--------------|-------------------|
|     |         |         | 企業経営           | 財務会計<br>経営管理 | 危機管理 | 業界知見<br>異文化 | 営 業<br>マーケティング | 宴 会<br>レストラン | E S G<br>サステナビリティ |
| 取締役 | 渡 辺 訓 章 | 代表取締役社長 | ●              |              | ●    |             | ●              |              |                   |
|     | 星 野 昌 宏 | 専務取締役   | ●              |              |      |             | ●              | ●            |                   |
|     | 山 口 健太郎 | 常務取締役   |                |              |      | ●           | ●              | ●            |                   |
|     | 吉 田 寛   | 取 締 役   |                |              |      | ●           |                | ●            | ●                 |
|     | 斉 藤 哲 二 | 取 締 役   |                |              | ●    |             |                | ●            | ●                 |
|     | 蛭 原 望   | 取 締 役   |                | ●            | ●    |             |                |              | ●                 |
|     | 山 田 満 男 | 取 締 役   |                | ●            | ●    |             |                |              | ●                 |
|     | 島 谷 能 成 | 社外取締役   | ●              |              |      | ●           | ●              |              |                   |
|     | 合 場 直 人 | 社外取締役   | ●              |              | ●    | ●           |                |              |                   |
|     | 福 本 ともみ | 社外取締役   |                |              |      | ●           | ●              |              | ●                 |

|     |         |       |   |   |   |   |  |  |   |
|-----|---------|-------|---|---|---|---|--|--|---|
| 監査役 | 宮 幸 男   | 常勤監査役 |   | ● | ● |   |  |  | ● |
|     | 相 場 康 則 | 社外監査役 | ● |   | ● | ● |  |  |   |
|     | 三 毛 兼 承 | 社外監査役 | ● | ● |   | ● |  |  |   |

※ 上記一覧表は、各人に対して当社が特に期待する知見・経験から最大3つまで記載しております。

※ 各人の有する知見や経験の全てを表すものではありません。

## 第4号議案 補欠監査役2名選任の件

監査役が法令に定める員数を欠くことになる場合に備え、補欠監査役2名の選任をお願いいたしたいと存じます。

補欠監査役候補者は次のとおりであり、濱中信行氏は、第3号議案が原案どおり承認可決された場合の常勤監査役 宮 幸男氏の補欠としての監査役候補者、また、谷口明史氏は、社外監査役 相場康則、社外監査役 三毛兼承の両氏の補欠としての社外監査役候補者であります。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

補欠監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                              | 略歴、地位および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                            | 所有する<br>当社の株式の数 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1     | はま なか のぶ ゆき<br>濱 中 信 行<br>(昭和42年8月2日生)                                                                                                                                                                    | 平成2年4月 株式会社朝日新聞社入社<br>令和2年4月 同社内部監査室主査<br>令和7年1月 当社監査室長(現任)                                                                                                                                                 | 0株              |
|       | [補欠監査役候補者とした理由]<br>濱中信行氏は、内部監査分野における業務経験を有し、公認内部監査人の資格も保有しております。内部統制・業務監査に関する見識を持ち、当社の監査体制の強化ならびに監査機能の充実を図ることに適切な人材と判断したため、補欠監査役候補者としております。                                                               |                                                                                                                                                                                                             |                 |
| 2     | 社外 独立<br>たに ぐち あき ひと<br>谷 口 明 史<br>(昭和51年10月28日生)                                                                                                                                                         | 平成16年10月 弁護士登録(大阪弁護士会登録)<br>北浜法律事務所(現:北浜法律事務所・外国法共同事業)入所<br>平成19年1月 弁護士法人北浜法律事務所東京事務所移籍<br>平成24年1月 同事務所パートナー(現任)<br>平成29年12月 株式会社アーバンビジョン(現:株式会社Livenup Group)社外監査役<br>令和3年6月 Delta-Fly Pharma株式会社社外取締役(現任) | 0株              |
|       | [補欠社外監査役候補者とした理由]<br>谷口明史氏は、弁護士としての豊富な経験や実績、幅広い知識・見識を有しており、当社の監査体制の強化ならびに監査機能の充実を図ることに適切な人材と判断したため、補欠社外監査役候補者としております。なお、同氏は社外役員となる以外の方法で会社の経営に関与したことはありませんが、上記の理由により、社外監査役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断しております。 |                                                                                                                                                                                                             |                 |

- 〔注〕
1. 各補欠候補者と当社との間における特別の利害関係はありません。
  2. 谷口明史氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員要件を満たしており、同氏が社外監査役に就任した場合、当社は同氏を独立役員として同取引所に届け出る予定であります。
  3. 谷口明史氏が社外監査役に就任した場合、会社法第427条第1項および当社定款第35条の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する責任限定契約を締結する予定であります。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項各号に定める最低限度額といたします。
  4. 当社は会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者がその職務の執行に関し責任を負うこと、または当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずる損害を当該保険契約により填補することとしております。当該保険契約の被保険者は取締役および監査役であり、濱中信行氏が監査役に就任ならびに谷口明史氏が社外監査役に就任した場合には、両氏も当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。

以 上

# 会場案内図

■会場 東京都千代田区丸の内三丁目2番1号  
東京會館本館7階「Sakura」  
電話 (03) 3215-2111 (代表)

※会場は前年と同じです。



## ■交通のご案内

○JR

京葉線「東京駅」6番出口より徒歩3分  
「有楽町駅」国際フォーラム口より徒歩5分  
「東京駅」丸の内南口より徒歩10分

○地下鉄

東京メトロ千代田線「二重橋前駅」  
東京メトロ有楽町線「有楽町駅」  
東京メトロ日比谷線「日比谷駅」  
都営三田線「日比谷駅」

B5出口直結

ご来場の際は、公共の交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

